

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第3回 相模原市教育振興計画策定委員会		
事務局 (担当課)		教育局教育総務室 電話042-769-8280(直通)		
開催日時		平成31年2月25日(月) 午後7時15分から午後9時20分まで		
開催場所		緑区合同庁舎 4階 集団指導室		
出席者	委員等	17人(別紙のとおり)		
	事務局	20人(教育長他19人)		
公開の可否		可	不可	一部不可
		傍聴者数		0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		議題 1 開会 2 基本理念について 3 基本目標・基本方針について 4 その他 5 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員長、 は副委員長、 は委員等、 は事務局の発言)

1 開会

2 基本理念について

現行計画の基本理念「人が財産」にはキャッチコピー的な要素があったが、次期計画にもっとその要素があってもいいのではないか。「目指す人間像」について、わかりやすさの視点から短くするなどもう少し検討してはどうか。

教育施策の展開に向けた基本的な考え方における基本姿勢に「教育資源の効果的な配分」とあるが、教育に関する予算規模の絶対量の確保を前提とした上で効果的な配分をして欲しい。

3 基本目標・基本方針について

【基本目標 1】

○「目指す人間像」の考え方のひとつである「多様性を尊重し 他者を思いやり 共に支え 高め合う人」について、特に「高め合う」という部分が基本目標 1 以下にどのように反映されるのか、わかるようにして欲しい。

○基本方針 5 の趣旨を踏まえると、スポーツだけではなく、音楽など文化的な活動も含まれるのではないか。

○今後の予測困難な時代を見据えて、基本方針 1 の「確かな学力」には「知識の習得」だけではなく、「考える力の育成」や「深く考える力」なども明記した方がよい。

新学習指導要領の内容を踏まえるべきかもしれない。

○基本方針 1 の内容に「幼児期から」とあるが、今後は幼児教育がより重要になるため充実する旨を明記した方がよい。また、相模原市には豊かな自然などの特色があるのに基本目標以下に記載がないので、幼児教育と合わせて記載してはどうか。

幼児教育については、市長部局の計画において主に扱うという分担になっているが、本計画での扱い方についても検討する必要がある。

○基本目標 1 の内容にある「未来を切り拓く力」に関する説明は、計画本体にも記載して欲しい。

「未来を切り拓く力」は、予測困難な社会において「自分で考え、生き方を選択する力を身に付ける」という意味であり、計画本体にも記載したい。

今後は社会的自立が重要となるため、基本方針 1 に「主権者教育」や「社会の構成員の一員として」という趣旨の文言を追加してはどうか。

○「確かな学力」の捉え方には個人差がある。学校外教育や不登校に携わる者として、今、本当に必要だと思うこととしては、身を守る力、人間関係を築く力、共存・共生に向けて尽力する力、消費者教育などであり、性の問題も実は重要なテーマである。また、知識と知識のつながり、知識と現実のつながりも重要だ。「健やかな体」について言えば、障害のある人をどのように考えるかという視点もある。

- 基本方針のタイトル全般について言えることだが、主語や対象を明確にしてわかりやすくした方がよい。例えば、基本方針1の冒頭に「子どもたちの」、基本方針2の冒頭に「世界を理解し」を入れてはどうか。
- 不登校や引きこもりなどで形式的に中学校を卒業した人に対する支援も必要ではないか。

【基本目標2】

- 基本方針7には、スポーツ活動だけではなく、地域の伝統文化の継承についても追記してはどうか。
- 基本方針6について、地域との連携・協働の仕組みづくりを進めるため、学校支援地域本部や学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)など具体的な活動と数値目標を記載してはどうか。
- 学校運営協議会などの既存組織を活用して、地域を巻き込むとよい。
- 郷土愛の醸成について、地域で子どもが育つということを考えれば、基本目標1だけではなく、基本目標2にも追記した方がよい。
- 基本目標のタイトルについて、「地域教育力」なのか「地域の教育力」なのか整理して欲しい。
基本方針6について、相模原市の特色を生かした「場づくり」を入れてはどうか。
- 海外には、チルドレンズ・ミュージアムという子どもたちが文化や郷土の遊びを体験し、継承につなげる教育施設があり、児童文化、自然の遊び、多世代交流の場の形成に役立っているため、相模原市でも検討してはどうか。
- 基本方針6について、単に「成長」ではなく「健全な成長」としてはどうか。

【基本目標3】

- 基本目標3の人材育成と、基本目標2における基本方針6・7の担い手の育成の仕切りを明確にして欲しい。例えば、「学校をサポートする人材の育成」は基本方針6と9のどちらに該当するのか。
- 基本方針13について、重要なのは職員の育成というよりも、職員が担い手を育成することではないか。
相模原市独自の良い仕組みを生かすためにも、プログラムを作成し、市民をリードする公民館職員、学芸員、司書などの専門職員の育成を明確にした方がよい。
- 日本経済新聞が実施したSDGs先進度調査によると、相模原市が首都圏1位になっているが、国際社会全体の目標であるSDGsを重視しているとわかるようにしてはどうか。
基本目標1の「未来を切り拓く力」がフロンティア精神に近い意味合いを有するのであれば、持続可能な開発を目指すSDGsと相反する可能性はないか。
SDGsを前提とした中で「未来を切り拓く力」を育成することは可能に思う。
- 「目指す人間像」の考え方に、「感性」だけではなく「知性」も追記してはどうか。また、「平和で安心して暮らせる持続可能な社会の形成」という趣旨の文言を追加してはどうか。
- 基本方針9について、学校の働き方改革だけではなく、教員数の確保も追記してはどうか。
- 「目指す人間像」の考え方にある「広く想像し 深く思考し」という文言は、非常によいので残して欲しい。

- 相模原市は「道徳」の授業を大切にしている。知識の教育だけではなく、心の教育も追記してはどうか。
- 教員多忙化の原因は、保護者対応にある。入学後の保護者支援の仕組みを構築することが重要だ。
- 基本方針 1 3 について、基本方針 1 2 と比較すると抽象的であるため、具体的に記載して欲しい。
「充実」や「推進」という結びのタイトルが多くあるが、予算には限りがあると思うので表現を整理して欲しい。

4 その他

本計画策定に向けたシンポジウムを 3 月 1 7 日（日）に開催するので是非御参加いただきたい。

5 閉会

以 上

相模原市教育振興計画策定委員会委員等 出欠席名簿

(平成31年2月25日開催)

	氏名	所属等	出欠席	備考
1	飯島 沙織	特定非営利活動法人相模原ライズ・アスリート・クラブ クラブマネージャー	出席	
2	大貫 勲	相模原市立大沢公民館 館長	出席	
3	大貫 君夫	相模原市民生委員児童委員協議会 副会長	出席	
4	後藤 直樹	神奈川県立麻溝台高等学校 校長	出席	
5	小橋 隆司	株式会社デスケル 代表取締役	出席	
6	酒井 朗	上智大学 教授	出席	委員長
7	佐藤 敦子	公募	出席	
8	佐藤 毅彦	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 教授	出席	
9	塚田 久美	神奈川県立津久井養護学校 校長	欠席	
10	中里 浩章	相模原市立小中学校PTA連絡協議会 副会長	出席	
11	永保 貴章	一般社団法人相模原市幼稚園・認定こども園協会 副会長	出席	
12	西出 利一	公募	出席	
13	秦野 玲子	RE Learning 代表	出席	副委員長
14	原田 康子	公募	出席	
15	藤井 智	特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク 常務理事	出席	
16	星山 麻木	明星大学 教授	出席	
17	若林 由美	相模原市立小中学校PTA連絡協議会 会計	出席	

【関係者】

18	守屋 和幸	相模原市立中沢中学校 校長	出席	
----	-------	---------------	----	--